



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2281 URL <http://www.primaham.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 鉄也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役第一管理本部長 (氏名) 前田 茂樹 (TEL) 03-6386-1800
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	135,768	9.8	3,740	21.6	4,001	24.8	2,565	82.2
23年3月期第2四半期	123,595	△4.4	3,075	3.0	3,206	△1.5	1,407	△15.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3,006百万円(103.5%) 23年3月期第2四半期 1,476百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第2四半期	円 銭 11.46	円 銭 —
23年3月期第2四半期	円 銭 6.29	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	102,760	33,931	27.9
23年3月期	97,682	31,960	27.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 28,680百万円 23年3月期 26,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,000	8.4	6,500	△3.9	6,600	△5.7	4,000	25.2	17.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	224,392,998株	23年3月期	224,392,998株
24年3月期2Q	561,450株	23年3月期	559,012株
24年3月期2Q	223,830,528株	23年3月期2Q	223,882,617株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は平成23年11月18日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	209,000	6.5	3,400	2.4	2,700	4.2	12.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で景気が緩やかに回復してきたものの、平成23年3月に発生した東日本大震災による甚大な被害、その後の電力不足や放射性物質問題、更に円高、株安、欧州金融危機など先行き不安感が高まりました。当業界におきましても消費者の低価格志向による販売価格の下落が継続するとともに、原材料価格の高騰、国産牛肉の消費減退などにより事業環境はきわめて厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,357億68百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は37億40百万円（同21.6%増）、経常利益は40億1百万円（同24.8%増）、四半期純利益は25億65百万円（同82.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<食肉事業本部>

食肉事業本部においては、引き続き低価格商品が中心となるマーケット展開や、国産牛肉の消費減退といった環境のなか、当社グループは輸入牛肉や豚肉のオリジナルブランド商品の安定供給、販売拡大に努めた結果、売上高は447億58百万円（前年同期比4.7%増）となり、セグメント利益は7億87百万円（同2.0%増）となりました。

<加工食品事業本部>

(ハム・ソーセージ部門)

ハム・ソーセージ部門においては、「香薫ウインナー」、「連タイプのロースハム・ベーコン」などの主力商品への集中と拡販を図るとともに、「味わい造りウインナー」などの新商品やジョンソンヴィル社との販売代理店契約に基づく商品の育成に注力しシェアアップに努めました。生産面においては、原材料価格の高騰などがありましたが、生産効率の向上などのコストダウンに努めてまいりました。

(加工食品部門)

加工食品部門におきましては、主力のハンバーグ、から揚げ、焼き鳥などの商品を拡販してまいりました。業務用商品においてもお客様のニーズに応えるべく積極的に商品開発を行い販路の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、加工食品事業本部（ハム・ソーセージ部門及び加工食品部門）においては、消費者の低価格志向及び同業他社との競合激化という厳しい環境ではありましたが、売上高は908億41百万円（前年同期比12.7%増）となり、セグメント利益は29億44百万円（同37.6%増）となりました。

<その他>

その他事業の売上高は1億68百万円となり、セグメント利益は9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ50億77百万円増加の1,027億60百万円となりました。これは主に、売上債権が35億61百万円、棚卸資産が24億67百万円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べて31億5百万円増加の688億28百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が47億36百万円増加した一方、短期借入金が13億44百万円、退職給付引当金が8億52百万円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて、剰余金の増加により19億71百万円増加し、339億31百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて15億91百万円減少し95億6百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益40億56百万円の計上と減価償却費19億96百万円の計上により営業活動における資金は41億49百万円増加しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

生産設備更新および生産性向上、品質安定のため29億10百万円の有形固定資産を取得したことにより投資活動による資金は27億46百万円減少しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入金12億円の調達があったものの、短期借入金13億35百万円、長期借入金19億66百万円の各々返済および配当金4億44百万円の支払などにより財務活動における資金は29億97百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、上記の第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、修正いたしません。

なお、連結業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度の変更等)

①連結子会社の事業年度の変更

従来、子会社の決算日と連結決算日が3か月を超えないことにより、各子会社の正規の決算を基礎として連結決算を行っていた会社において、当期より決算期を3月31日に統一したことに伴い、当該各子会社については、各四半期連結決算日(当第2四半期連結会計期間は9月30日)までの個別財務諸表を連結しております。

②連結子会社の仮決算方式への変更

一部の子会社については、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日において仮決算を行っております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,354	9,628
受取手形及び売掛金	22,775	26,337
商品及び製品	8,206	10,472
仕掛品	336	353
原材料及び貯蔵品	898	1,082
その他	3,535	3,713
貸倒引当金	△42	△16
流動資産合計	47,065	51,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,031	16,635
土地	18,639	18,744
その他（純額）	7,998	9,175
有形固定資産合計	43,670	44,555
無形固定資産	567	555
投資その他の資産		
投資有価証券	4,082	3,801
その他	2,408	2,420
貸倒引当金	△110	△144
投資その他の資産合計	6,380	6,078
固定資産合計	50,617	51,189
資産合計	97,682	102,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,344	29,080
短期借入金	6,455	5,111
1年内返済予定の長期借入金	3,472	3,775
未払法人税等	760	1,249
賞与引当金	991	1,115
役員賞与引当金	30	—
資産除去債務	18	—
その他	7,692	8,536
流動負債合計	43,765	48,868
固定負債		
社債	210	146
長期借入金	12,061	10,991
退職給付引当金	4,806	3,954
役員退職慰労引当金	132	—
資産除去債務	84	84
その他	4,662	4,782
固定負債合計	21,957	19,959
負債合計	65,722	68,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363	3,363
資本剰余金	3,964	3,964
利益剰余金	17,111	19,067
自己株式	△61	△60
株主資本合計	24,377	26,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	490
繰延ヘッジ損益	△3	△4
土地再評価差額金	2,169	2,169
為替換算調整勘定	△295	△309
その他の包括利益累計額合計	2,314	2,346
少数株主持分	5,268	5,251
純資産合計	31,960	33,931
負債純資産合計	97,682	102,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	123,595	135,768
売上原価	101,508	112,726
売上総利益	22,086	23,042
販売費及び一般管理費	19,011	19,302
営業利益	3,075	3,740
営業外収益		
受取利息及び配当金	69	56
持分法による投資利益	54	26
事業分量配当金	—	109
その他	403	428
営業外収益合計	527	621
営業外費用		
支払利息	209	161
貸倒引当金繰入額	109	20
その他	76	179
営業外費用合計	395	360
経常利益	3,206	4,001
特別利益		
投資有価証券売却益	8	—
負ののれん発生益	—	159
その他	5	7
特別利益合計	14	166
特別損失		
固定資産売却損	219	5
固定資産除却損	120	32
減損損失	109	—
その他	131	73
特別損失合計	580	111
税金等調整前四半期純利益	2,640	4,056
法人税等	818	1,068
少数株主損益調整前四半期純利益	1,822	2,987
少数株主利益	414	422
四半期純利益	1,407	2,565

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,822	2,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△298	45
繰延ヘッジ損益	1	△4
為替換算調整勘定	△46	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△345	18
四半期包括利益	1,476	3,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,081	2,596
少数株主に係る四半期包括利益	395	409

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,640	4,056
減価償却費	1,951	1,996
減損損失	109	—
負ののれん発生益	—	△159
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	103	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29	94
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△431	△852
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	—
受取利息及び受取配当金	△69	△56
支払利息	209	161
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8	42
持分法による投資損益 (△は益)	△54	△26
有形固定資産売却損益 (△は益)	219	4
有形固定資産除却損	120	32
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,950	△3,561
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	516	△375
たな卸資産の増減額 (△は増加)	510	△2,467
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,208	4,736
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	448	973
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△213	112
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
その他	—	9
小計	7,415	4,730
利息及び配当金の受取額	80	68
利息の支払額	△202	△170
法人税等の支払額	△1,281	△478
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,011	4,149

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,634	△2,910
有形固定資産の売却による収入	21	129
無形固定資産の取得による支出	△154	△112
投資有価証券の取得による支出	△14	△14
投資有価証券の売却による収入	10	—
関係会社株式の売却による収入	—	180
子会社の自己株式の取得による支出	—	△198
貸付けによる支出	△357	△38
貸付金の回収による収入	37	74
敷金の差入による支出	△12	△16
敷金の回収による収入	26	34
定期預金の増減額 (△は増加)	△15	135
長期前払費用の取得による支出	△123	△26
その他	△56	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,274	△2,746
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△217	△1,335
リース債務の返済による支出	△75	△101
長期借入れによる収入	1,700	1,200
長期借入金の返済による支出	△2,987	△1,966
社債の償還による支出	△104	△125
割賦債務の返済による支出	△149	△153
配当金の支払額	△443	△444
少数株主への配当金の支払額	△67	△69
自己株式の取得による支出	△2	△1
自己株式の売却による収入	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,345	△2,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,367	△1,591
現金及び現金同等物の期首残高	10,714	11,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,081	9,506

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	42,765	80,639	123,405	190	123,595	—	123,595
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,967	18	11,986	22	12,009	△12,009	—
計	54,732	80,658	135,391	213	135,604	△12,009	123,595
セグメント利益	771	2,139	2,910	170	3,080	△5	3,075

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	44,758	90,841	135,600	168	135,768	—	135,768
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,197	21	13,218	25	13,243	△13,243	—
計	57,956	90,863	148,819	193	149,012	△13,243	135,768
セグメント利益	787	2,944	3,731	9	3,740	0	3,740

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「加工食品事業本部」セグメントにおいて、159百万円の負ののれん発生益を計上しております。
これはプライムデリカ㈱が同社の株式を少数株主から取得したことによるものです。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。